

警城時報

行發日九
編輯兼發行 岡田 弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金十圓
廣告料一行十四字計五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

雨中の防火訓練

久和警防課長激賞 平市大火の想定で執行

平警防團では九日午前十時五分
警鐘を打って團員中消防班、交
通整理班、救護班、避難管理班
を召集、防火訓練を行つた。

▲想 定
一、三月九日午前十時五分平市
掘堀小路色川村木屋材木置場
より大火は折柄の北々西
烈風に煽られ忽ち附近に燃え
擴がり既に市役所前大通りに
燃え掛けたるの状況にあ
り、且つ風上一帯に火の子は
盛に飛散しつゝあり、現在の
風速十米以上を示しあり。

二、警察署に於ては十時十分警
下湯木、小名沼、江名各警防
團に自動車ポンプ應援出動命
令。

三、十時十分掘堀小路志賀材木
店材料置場に飛火して大火し
附近に延焼せんとしつゝあり
四、十時十分火は益々猛威を
振ひ遂に市役所前道路を越え
て道路の南側に延焼せり
五、十時三分火は益々風に煽ら
れて盛に延焼しつゝあり、遂
に飛火のため一丁目仙臺屋敷
より飛火せり
六、同時刻一丁目南側平銃砲店
裏に飛火し大火せり、火藥庫
危険に瀕す
七、十時四十分火は北々西の風
に煽られ益々猛威を振ひ既に

火元より一丁目仙臺屋敷附近ま
で一帯は火の海と化せり
八、十時五十分一丁目銃砲火藥
店裏より飛火したる火は風に
煽られ遂に銀治町に延焼せり
九、十一時風は西に變れり風
速猶衰へず
一〇、十一時十分火は一丁目南
側に延焼すると共に東へ風に
煽られつゝあり
一一、十一時二十五分一丁目、
銀治町方面盛に延焼しつゝあ
り、折柄平市は大雨であつたが團員
始め家庭防空隊までズ濡れと
なつて活躍、成績良好で視察に
來た久和警防課長も感激した

川前村のチブス禍

強制的に豫防注射

川前村大字上桶瀧澤尻勝美妻の傳染が懸念されてゐるが、取
字佐美たけ(二七)は二月月前實あへず小學生並に桶瀧澤居民に
家の同村下桶瀧宇久保田永山正 強制豫防注射を行つた
御の診察でチブスと判明隔離
したが、その時には既に同家長
御正船が發病してをり、續いて
七日迄に同宇久長女の妻と
(十八)同四男久(一〇)同宇殿
林根本と子(二四)同源次郎(一
五〇)大字川前宇山下谷矢内(一
五)等の發病を見、更に疑
五町長、佐藤神谷村長等去る四
日(十五)等の發病を見、更に疑
五町長、佐藤神谷村長等去る四
日(十五)等の發病を見、更に疑

湯本・植田間 換線工事

國道六線勿來、久之沼間の改良
工事は湯本、植田間の幹線計
劃に含まれてゐるが、右に對し
て沿線関係地の代表に立つ青沼
平市長、木村大浦村長、古川植
田町長、佐藤神谷村長等去る四
日(十五)等の發病を見、更に疑

星、山田の兩代議士に託して請
願書を提出したが、前記換線路
その他に關する十一日內務省
仙臺土木出張所の金森誠之所長
及び内務省土木局の和田技師出
張實地調査ある等、改良工事
期成同盟會青沼平市長、木村、
古川兩副會長等案内することに
なつてゐる。換線の新線路は湯
本町字辰の口、入山、五坑前か
ら鐵道の東を経て海岸寄り南
進し泉村の下川に至つて西南の
植田町元警察署の位置に向ふも
ので現在の警署、渡邊兩村を通
つゝ屈曲や急坂の多いものとは
比較にならないと云はれてゐる。
距離も若干短縮(約三里)され、
且つ鐵道踏切の二ヶ所を取り除
かれる理想的なものであると同換
線は決定的なものと云はれてゐ
る。

娘斬り犯人 平署必死の搜索

平市研町高橋政次さんの長女み
ち子(二二)さんを斬つた犯人に
協會東北六縣大會に本縣代表と
して公有林管理經營について講
演中であるが、九日正午まで
捜査中であるが、九日正午まで
捜査に至らず九日の朝には縣刑
事課から長瀧部長刑事が平署に
來り何事が打合せたが應援に來
たものと見られてゐる。

大井川町議の 後援會組織

湯本町議大井川正己君の應援者
矢吹佐市氏は大井川町議の後援
會を組織、十一日午後六時湯本
庶民會を舉行する

時局講演會 白石氏講演

平市役所、平國婦、平市聯合分
會主催時局講演會は明日陸軍
紀念日を卜し午後六時半から公
會堂に催すが、講師は白石玄
海氏で演題は
一、實戰の體驗と興亞の日本
一、歐洲大戰と日本の追跡
である。

川前に高等科 仙臺で講演

川前村では小學校に高等科を併
置する事になり七日縣に認可申
請をなした
永山忠二氏
仙臺で講演
前川前村長永山忠二氏は十九日

支那軍鷹懲の 慰問袋有難う

昨年の秋に御送り下さいまし
たお心盡しの慰問袋は本日三
月一日に漸く届きました御芳志の品
々は何一つ損じましたものも
ありません。半年近くもなつて
仕舞つてゐるので、皆様も御
送りの慰問袋は一体何處へ行
つて仕舞つたのかと定めし御
心配の事と思ひまして、御同封の御手
紙がテウ様とある外に、小學校
の生徒さんのお習字が一枚
ありまして、その方は中田ヨ
ウさんとお名前がありました
學校は福島縣相馬郡鹿島郡常

御休心被下度候、就ては先日 常葉字町生れ住所不定内田辰雄 は御送方にもかゝはらず新聞(二七)にして四倉寮に於ては取 送附被下船員諸君も拜讀の上、調終了し一件書類と共に身柄を 喜び居り候處厚く感謝仕り候 昨七日平檢事局に送つた 時節御禮券々先は御一報申 上候

四倉驛成績
四倉驛二月分の成績左の如し
乗車人員二万二千五百三十八
降車人員二萬二千五百五十五人
乗車賃金九千七百九十九圓

久之濱 窃盗犯送局

去る二十八日午前一時半ごろ双
葉郡久之濱仕職酒井進方に何
者か忍び入りコールド天幕約五
十二ヤール価格二百二十餘圓を
窃取された旨の訴へがあつた
ので所轄四倉署では時をうつつさ
し捜査網を張り各地に手配中であ
つたが二日石城郡小名濱町西町
三浦清と稱して同郡植田町大字
金加仕立業柳田秀雄方に至り該
物品の賣却交渉中にて價格の事
にて一時の品預けをしてあるこ
とをき、込み植田署から四倉署
に通知があつたので廣田刑事急
行して同署の應援を得て張り込
み逮捕し取調への結果窃盗前科
四犯の強者で田村郡常葉町大字

中支より 四倉出身

寒氣の候後諸君の皆々方には
故國のため御健闘のこと、存
じ奉候、我等も元氣よく毎日
軍務に奉公致し居り候、何卒
猪狩金七

八方散

飲んで腫物の妙藥
水野藥局
平市一電六九九
戦でありました、相當以上の
困却に耐へて無事にこの程歸
つて來て早速慰問袋を頂く
云つた順序になりましたので
慰問袋が次第より一層嬉しく
思はれた次第です。
支那の様子など最早各方面か
ら御聞きでも御座います。若
し存じてゐる限りの御報告
をお約束致します。
色々と申上げたい事も御座い
ますが今日はこれで失禮いた
します。とり急ぎ御厚禮まで
向どんな兵隊が預いたかと思
はれるかも知れないとお察し
いたしました。元日に戦友が損
りました。寫真一枚同封して置
きました。お笑ひにならないで
下さい。では、
(加納テウさん宛)

時局下の女性に!
 △社會待望の高尙なる職業婦人
 △又は家庭の衛生學として……
 産婆看護婦をお奨め致します。

三六回 生徒募集

断然定評ある
平・南町

産婆看護婦學校へ
平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ
 電話三〇七番

育訓るな厚教・統傳るあえ榮
 よえ燃に望希よ年少青の學向

生徒募集

可認制年三は科等中
 破突關難驗受は科修專

磐城佑賢學舎

成完築増舎校新◎
 講開科語那支◎
 施實科練教◎

【番三九話電】

昭和十五年 入學生募集

本 科 (修業年限二ケ年) 一〇〇名
 技 藝 科 (修業年限二ケ年) 一〇〇名
 專 攻 科 (修業年限一ケ年) 五〇名
 各 科 一 年 補 欠 入 學 生 若 干 名
 課 外 教 授 (タイプライター、琴、生花、ピアノ、洋裁、タイプライター修得者は本校に於て就職斡旋致します)

文部大臣認可
平陽女學校

カリエス に 特 効
高血圧

二葉滋器治療所

平市大町 電話一九三番

吸入用酸素純度99%

モノサシ
 ハカリ
 マス
 体温器
 寒暖計

写真機
 材料一式

關内藥局

電話四〇番



鋭後の作家計費引下
 一日のサレヒスデーを
 活用下さい

附屬産産院

新設

妊産婦入院隨時

婦人科 **木村病院**
 平市新川町
 電話一六四番

女工さん 數募集

十六歳以上
 御希望の御方は早速工場に御出で願ひます
 四倉町字原田
渡邊製袋工場

生徒募集

内容ノ充實ト教授ノ徹底
 各種受験難關突破成績優秀
 學費ノ低廉ト古教科書斡旋
 講堂完成ト六學級編成
 實用科目(簿記珠算)特設
 第一學年二百名
 新學期四月五日

磐城青年學校

平市字六間門

産科・婦人科

平市田町

井坂醫院

電話五五九番

小兒科

平市南町

志賀醫院

電話一六二番

蓄膿根切 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あるに雖他藥の及ばざる其藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事をお奨め致します
 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
 其他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効あり

快鼻湯 製造元 水野藥局
 責任製劑者 藥劑師 水野清一
 福島縣平市一丁目 電話六九九番

内科・小兒科

六丁丁(五丁目交番隣)

正木醫院

醫學博士 正木信功
 電話四三九番

神經痛・ロイマチス

漢方百草根

價 藥 五圓
 一五〇
 三〇〇

陸海軍病院御用藥

平代理店 **丸龜商店**
 平市大町 電話二二三番

安田生命 保
 日本共立火災
 東京動産火災 險

平代理店 **井上貞治郎**
 平市五丁目 電話六六番

タンス・鏡臺

御婚禮調度品を
 取揃へました

是非

和久井屋

御越下さ
 平市一丁目 電話四〇五番

耳鼻咽喉科

入院自炊の便あり
大和田醫院
 平市南町(電話一〇七番)